

中間評価対象事業

地方創生港整備推進交付金事業

香川県 農政水産部水産課
小豆島町 建設課

1. 地域再生計画 概要

計画名：未来の元気な小豆島にむけてのみなとづくり計画

(地域再生計画 作成主体：香川県及び小豆島町)

事業内容

整備施設	施設の場所	施設の詳細	事業主体	事業期間	事業費(千円)
港湾施設	内海港(小豆島町) 坂手港(小豆島町)	係留施設(浮棧橋、岸壁)	小豆島町	R2年度～R6年度	294,000
漁港施設	竹生漁港(小豆島町)	外郭施設(防波堤)	小豆島町	R2年度～R5年度	374,000

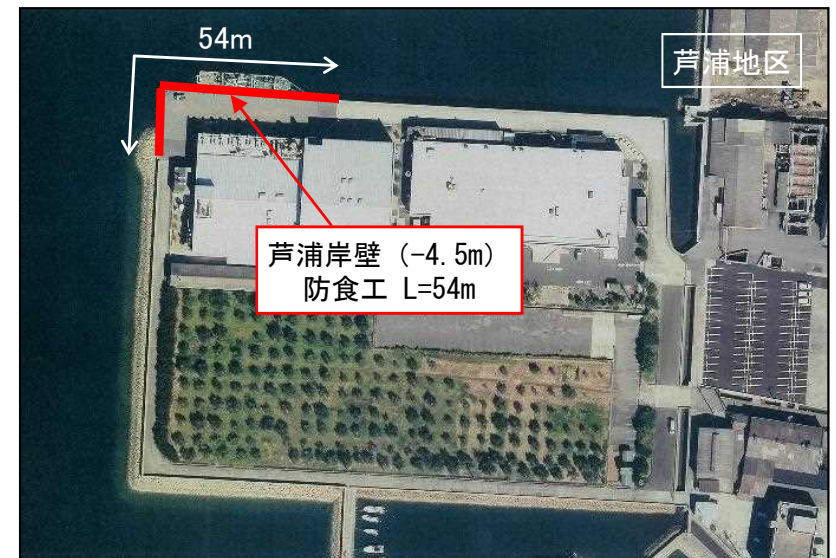
地域再生計画の目標

目標	令和元年度 (基準年度)	令和5年度 (中間年度)	令和6年度 (最終目標)
年間観光客数の維持	107万人	83万人 (令和4年度 83万人)	107万人
竹生漁港の漁業従事者数の維持	12人	12人 (令和4年度 12人)	12人

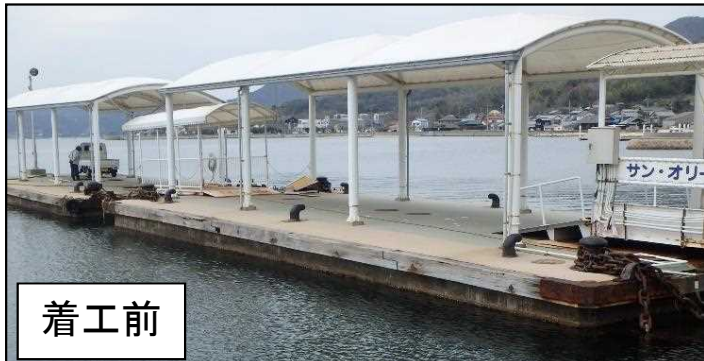
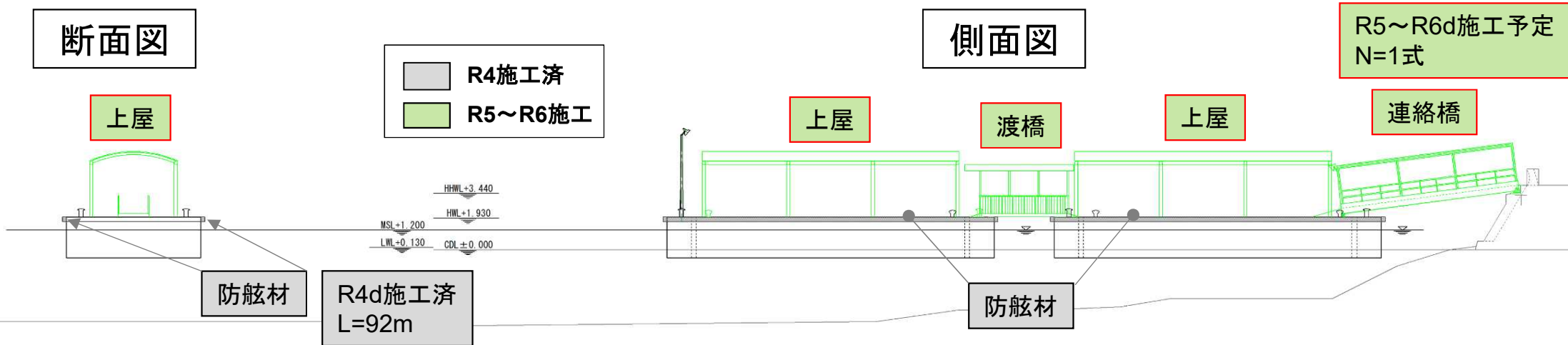
※その他事業

- ・瀬戸内国際芸術祭：「海の復権」をテーマに小豆島の魅力を世界に向けて発信
- ・オリーブマラソン全国大会：地域一体で運営し、5,000人のランナーに魅力を発信
- ・クルーズ船誘致事業：クルーズ船の誘致、歓迎行事によって、小豆島をイメージアップする観光振興事業
- ・漁業振興協議会による普及事業：水産業を活性化する事業
- ・オリーブトップワンプロジェクト：小豆島オリーブのブランド力の向上する事業

2. 事業説明（港灣施設・内海港）



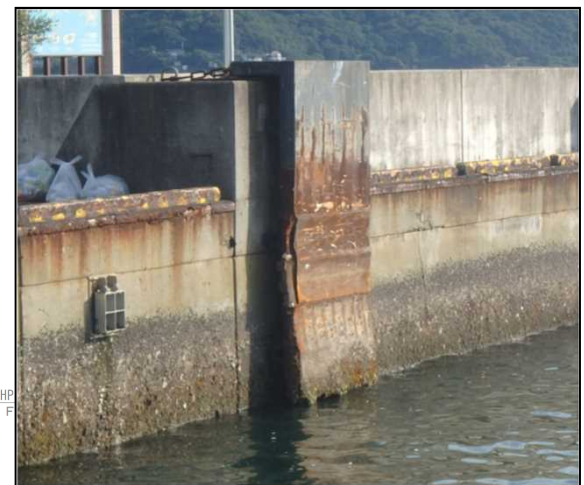
2. 事業説明（港湾施設・内海港・草壁浮棧橋）



R4年度末(実績): 31,003千円/ 93,500千円(約30%)

2. 事業説明（港湾施設・内海港・草壁岸壁）

平面図



- 防舷材①
- 防舷材②
- 防舷材③
- 防舷材④

タイヤ式防舷材

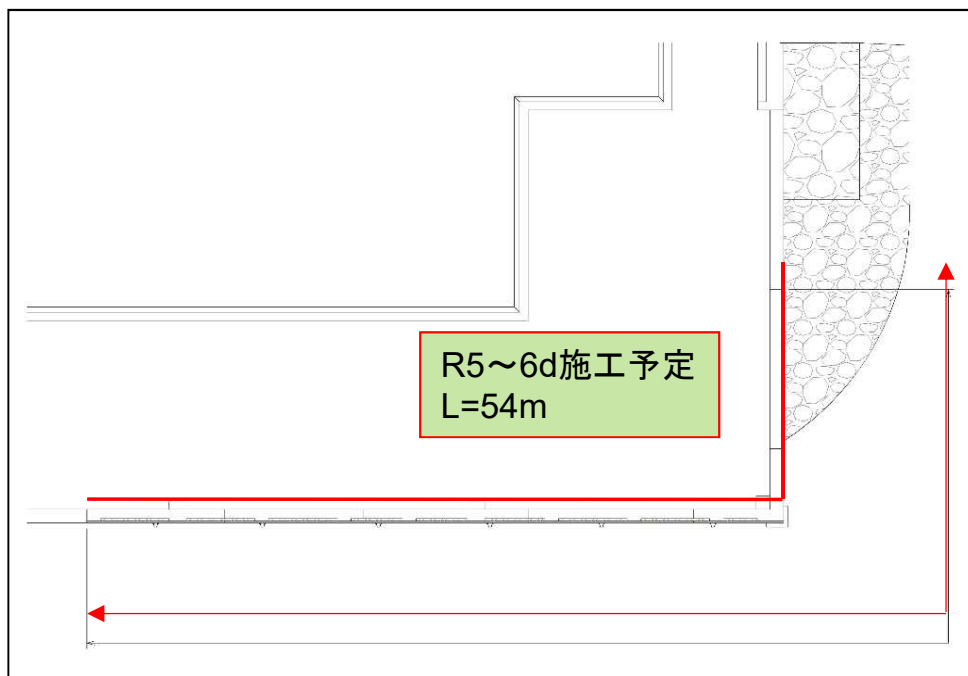


全景

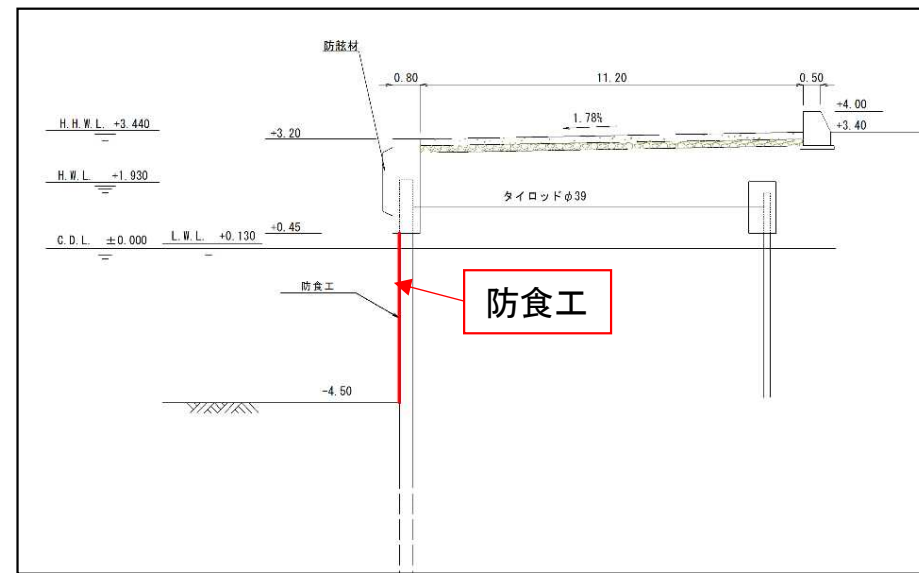
R4年度末(実績): 0基/ 4基(0%)

2. 事業説明（港湾施設・内海港・芦浦岸壁）

平面図



断面図



R4年度末(実績): 0m/ 54m (0%)

2. 事業説明（港湾施設・坂手港）



2. 事業説明（港湾施設・坂手港・坂手浮棧橋）

側面図

R2~R3d施工済
N=1式

HHWL+3.350

HWL+1.790

MLWL+0.600

DL±0.000

LWL+0.120

浮体流用
L22.0m × B8.0m × D2.4m

着工前



着工前



流用浮棧橋(豊島 家浦港)



完了



完了



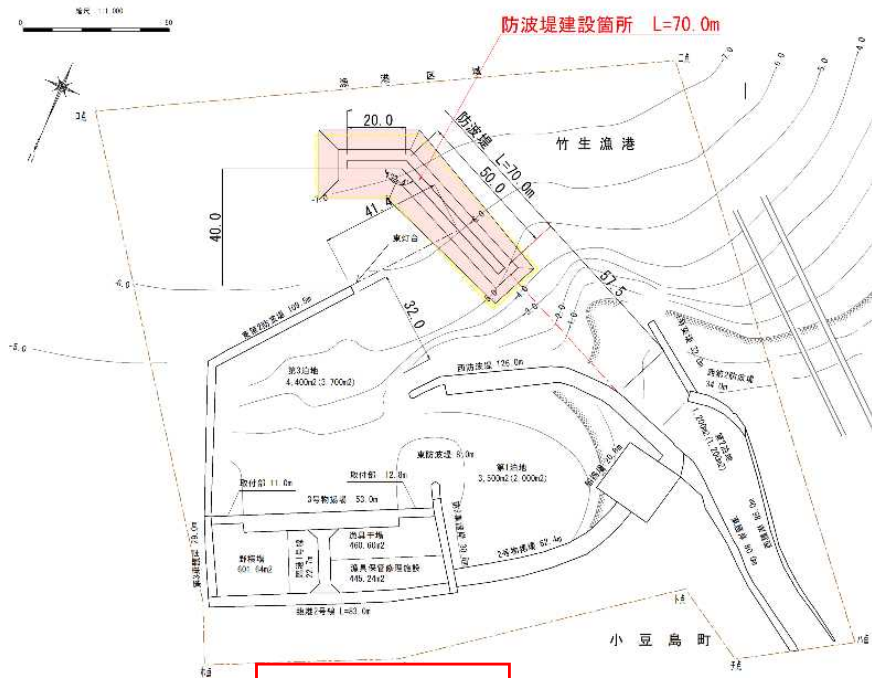
R4年度末(実績): 1式/ 1式(100%)

2. 事業説明（漁港施設・竹生漁港）

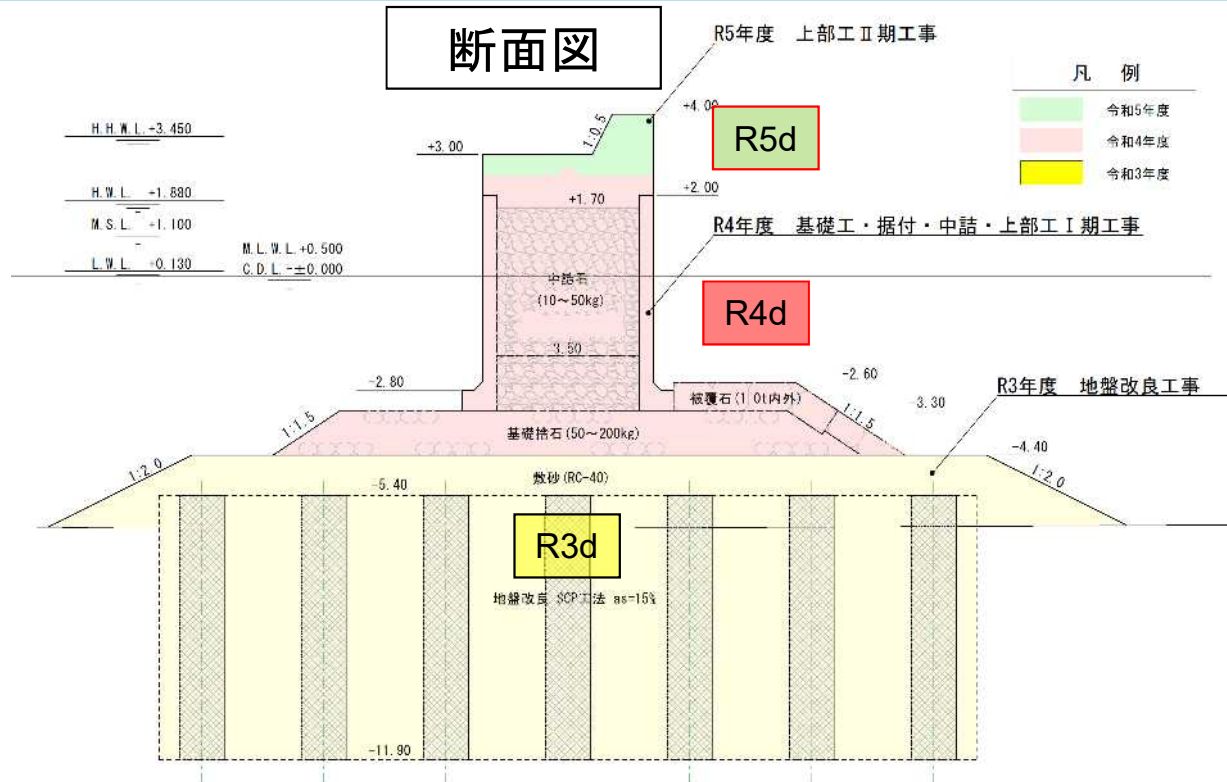


3. 事業説明（漁港施設）

平面図



断面図



R4年度末(実績) : 335,753千円 / 374,000千円 (90%)

●事業の進捗状況

②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（R4）	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	港湾施設整備事業（坂手浮棧橋整備）	浮棧橋整備 N=1式	浮棧橋整備 N=1式	浮棧橋整備 N=1式	計画に対し、進捗率は100%であり、整備は完了した。
	港湾施設整備事業（草壁浮棧橋整備）	浮棧橋整備 N=1式	浮棧橋整備 N=0式	浮棧橋整備 N=1式	計画に対し、事業費から見る進捗率は30%であり、順調に整備は進んでいる。引き続き、計画に則した整備を目指していく。
	港湾施設整備事業（芦浦岸壁整備）	岸壁防食工 L=54.3m	岸壁防食工 L=0m	岸壁防食工 L=54.3m	計画に対し、進捗率は0%であるが、R5～R6に整備を予定している。
	港湾施設整備事業（草壁岸壁整備）	防舷材整備 N=4基	防舷材整備 N=0基	防舷材整備 N=0基	新型コロナウイルス流行等の影響を受けたことにより、草壁岸壁を利用していたフェリー会社の経営が悪化し、草壁高松航路が休止になったため、内海港の草壁岸壁については整備を取りやめる。今後は、瀬戸内国際芸術祭等のソフト事業を継続、新たに地域内循環バスの実証実験等を実施しながら、交流人口を確保し、参入する航路事業者を待つ。
	漁港施設整備事業（防波堤整備）	防波堤整備 L=70m	防波堤整備 L=70m	防波堤整備 L=70m	計画に対し、事業費から見る進捗率は90%であり、順調に整備は進んでいる。引き続き、計画に則した整備を目指していく。
その他の事業	瀬戸内国際芸術祭	「海の復権」をテーマに小豆島の魅力を世界に向けて発信するイベント			2010年から3年に1度開催しているが、2022年も開催し、多数の作品を展示している。
	オーリーブマラソン全国大会	地域一体で運営し、5,000人のランナーに魅力を発信するイベント			コロナ禍により令和2～4年は中止となったが、令和5年から再開している。
	クルーズ船誘致事業	クルーズ船の誘致、歓迎行事によって、小豆島をイメージアップする観光振興事業			クルーズ船の誘致、歓迎行事を継続的に行っている。
	漁業振興協議会による普及事業	水産業を活性化する事業			コロナ禍により中止になった行事があったものの、水産出前事業、漁業体験、漁業者向けの研修会、おさかな絵画コンクール等を実施している。
	オーリーブトップワンプロジェクト	小豆島オーリーブのブランド力の向上する事業			オーリーブ出前授業や収穫体験、少量オーリーブ果実採油事業等、島内外へ向けたオーリーブの情報や魅力発信、オーリーブ苗木のプレゼント等を継続して実施している。

漁港事業の進捗率は、90%であり令和5年度に完了予定である。

また、港湾の進捗率は、42%であり整備は進んでいる。しかし、新型コロナウイルス流行等の影響を受けたことにより、草壁岸壁を利用していたフェリー会社の経営が悪化し、草壁高松航路が休止になったため、内海港の草壁岸壁については整備を取りやめる。今後は、瀬戸内国際芸術祭等のソフト事業を継続、新たに地域内循環バスの実証実験等を実施しながら、交流人口を確保し、参入する航路事業者を待つ。

●目標の実現状況

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標の達成状況		
			基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数	
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標 1	観光客数の維持	107万人	R元	107万人	R4	83万人	107万人	R6	×	2	1
	目標 2	竹生漁港の漁業従事者数の維持	12人	R元	12人	R4	12人	12人	R6	○	2	1

中間目標の実現状況は、コロナ禍の影響により観光客数は一時的に減少しているが、回復傾向にある。漁業従事者数は維持できている。

中間評価

●計画全体の総合評価

本地域再生計画では、地方創生港整備推進交付金を活用した港湾と漁港の一体的な整備の中で、老朽化した施設の整備による施設の延命化、防波堤の新設による船舶の安全な係留場所の確保が可能となることから、来島する観光客の維持、観光客への水産特産品の安定供給や神戸・高松方面への水産物の安定的な出荷が期待され、島の観光業や水産業の振興を図るものである。

中間年度では、コロナ禍の影響により、観光客数は一時的に減少しているが、回復傾向にある。また、漁業従事者数は維持できている。3年に1度開催の「瀬戸内国際芸術祭」やコロナ禍で中止されていた「オリーブマラソン全国大会」の再開や漁業振興協議会による普及事業等のソフト対策を行うことにより、目標達成を目指していく。

●今後の方針

中間評価結果の反映状況	
地域再生計画の見直し	(有) ・ (無)
令和6年度交付金要望額への反映	(有) ・ (無)
有りの場合の増減額	△32,500千円

●対応方針(案)

内海港1岸壁削除に伴う整備事業量、事業費の見直し

・整備事業量

認定時 防舷材 N=4基 → 防舷材 N=0基 [4基減]

・令和6年度の事業費

現認定計画 150,000千円 → 見直し後85,000千円[65,000千円(うち交付金32,500千円)減]

・総事業費

現認定計画 668,000千円 → 見直し後603,000千円

[65,000千円(うち中間評価結果を反映した削減額65,000千円)(うち交付金32,500千円)減]